

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [選挙活動](#) | [勝つための戦略立案の基本②](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[▶ キーワード検索はこちら](#)

勝つための戦略立案の基本②

選挙闘争に臨む基本姿勢

選挙制度の本質が権力闘争であることから、選挙参謀には「信念」が必要です。

1. 政治権力の強い意思を持つこと

候補者はもちろんですが、候補者を当選させようとする参謀に権力に対する感覚や権力への強い意思がなかったら、とことん闘うことは出来ません。

2. 選挙には醜い面があることを自覚（覚悟）すること

競合相手から仕掛けられることもある。どう対処するか、「目には目を、刃には刃を」というものも持っておく必要があります。相手にスキを与えない。そして、いかなる事態にも対応する、動じない心構えをしておく。

3. 闘争に勝つための権謀術数を身に付けておくこと

謀略や策略にも精通しておくことも必要です。こちらからそれを使わなくても、相手の手の内を見抜き、対処する方法は研究しておくことです。闘争では、お人好し、善人だけでは勝てません。

4. 闘争の基本は力を持つこと

闘争の論理は「力の論理」です。選挙闘争における力とは何か、それをどう蓄えるかを常に考えておく。味方の力量と相手方の力量とを判断して、それに応じた闘い方が必要です。つまり、戦略的発想がなければなりません。

5. 民主主義者としての信念と誇りを持つ

民主主義者としての立場と姿勢を堅持する、選挙制度は民主主義と深く関わっています。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

